



令和4年度 さいたま市タウンミーティング 〈開催概要〉



●開催テーマ

デジタルでシンカするさいたま市
～デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進～

- 「さいたまデジタル八策」への意見
- 重点的に取り組んでほしい分野は？
- 配慮してほしいことは？

開催日時： 令和4年10月4日 (火)
18:30～20:00
会 場： 浦和コミュニティセンター
10階 第14集会室
参加者： 7名 (傍聴者0名)
市出席者： 市長
都市戦略本部デジタル改革推進部
事務局： 市長公室秘書広報部広聴課

●テーマの説明・意見交換のねらい

コロナ禍を契機に、国、地方公共団体を含めた行政全体のデジタル化の遅れが強く認識されたところです。デジタル庁が創設され行政のデジタル化が急ピッチで進められる中、本市においては、令和2年11月にDX推進本部を設置、令和3年度には、将来を見据えて中長期的にDXを推進するため、「さいたまデジタル八策」を策定し、取組を進めてきました。

タウンミーティングでは、デジタルによって、進める進化と深める深化の二つの軸でシンカするさいたま市について御意見を伺いました。



●参加者からの御意見 これら以外にも多くの御意見をいただきました。

- ・オンライン授業と対面授業を混ぜたハイブリッド授業を進めるとよい
- ・全てをデジタル化するのではなく、既存の環境を残し、デジタル化と両立することが重要
- ・情報を受け取る世代ごとに工夫した広報の仕方を考える必要がある
- ・アートとデジタルをうまく使い、楽しいことからデジタルに慣れていくようにするとよい
- ・自治会の電子化モデル事業を進めているが、課題がたくさんある
- ・市役所に提出する書類のデジタル化を進めてほしい

●御参加いただき、ありがとうございました！



当日は皆様から大変貴重な御意見をたくさんいただき、ありがとうございました。デジタルでできることと、できないことの両方を大切に、地域の課題を解決していきたいと思っていますので、引き続き皆様から御提案をいただければと思います。

デジタルは、市民サービスや業務効率を高める重要なツールですので、これまで以上にスピード感を持ってDXを推進し、より利便性の高い市民サービスの提供や業務の効率化に向けて取り組んでいきます。

令和5年3月 さいたま市長 清水 勇人